

## 令和 3 年第 2 9 回公安委員会会議録

日 時	1 1 月 1 8 日（木曜日） 自午後 1 時 3 0 分 至午後 3 時 5 0 分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	下山委員長 小野委員 廣塚委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

### 第 1 定例会議

#### 1 令和 3 年度捜査用似顔絵講習会の開催について

- (1) 目的  
県民の捜査協力を得ながら、被疑者の検挙を図るため、迅速かつ的確に犯人等の似顔絵を作成する技能を養成することを目的とする。
- (2) 開催日時・場所  
令和 3 年 1 2 月 3 日（金）午後 1 時から午後 5 時 1 5 分までの間  
熊本県警察本部 1 0 階多目的ホール
- (3) 受講者  
警察本部及び県下各警察署の警察職員 5 0 人（予定）
- (4) 講師  
熊本県警察本部刑事部鑑識課 鑑識指導官
- (5) 主な講習内容
  - 基本講座  
基礎的作成要領
  - 実戦講座  
事件を想定した作成要領

#### 【委員からの質問等】

委員から「聞いた話から似顔絵を作成するのは、技術的には非常に難しいのではないかと。今回の講座は半日程度であるが、このような講座や実践経験を積み重ねていくような講座は考えているのか」旨の質問があり、警察側から「毎年 1 回ずつ似顔絵講座を実施しているが、似顔絵作成のセンスがある者については、毎年繰り返して講座を受講してもらい練度を積み上げていき、スペシャリストの養成につなげていきたい」旨の説明があった。

#### 2 飲酒運転の根絶に向けた特別対策の実施について

- (1) 「飲酒運転根絶広報啓発強化期間」の実施
  - ア 実施期間  
令和 3 年 1 2 月 1 日（水）から同年 1 2 月 1 0 日（金）までの 1 0 日間
  - イ 実施内容
    - (ア) マスメディア等を活用した広報啓発の強化
    - (イ) 安全運転管理者等選任事業所等との連携強化
    - (ウ) 「酒酔い体験ゴーグル」等を用いた参加・体験型の交通安全教育の推進
    - (エ) 飲酒運転防止に係るアルコール依存症対策の推進
- (2) 「飲酒運転特別取締り強化期間」の実施

- ア 実施期間  
令和3年11月19日（金）から同年12月18日（土）までの30日間
  - イ 県下一斉「飲酒運転取締り」の実施  
令和3年11月19日（金）午後10時から同月20日（土）午前1時までの間
- (3) 参考事項
- ア 先行対策の実施  
11月5日（金）に下通アーケード等において「飲酒運転根絶」県下一斉キャンペーンを実施
  - イ 路上横臥対策に係る熊本県タクシー協会への協力依頼の実施
    - (ア) 依頼日  
令和3年11月15日（月）
    - (イ) 依頼内容  
タクシーが路上横臥者を発見した場合に、その後方に車両を停車させ、ハザードランプを点灯するなどの措置をとり、110番（119番）通報して警察官に引き継ぐことを依頼するもの。

【委員からの質問等】

委員から「最近、コンビニでお酒を買って、そのまま駐車場の車の中で酒を飲んで飲酒運転するという記事をよく見かけるが、このような人に対する対策は実施しているのか」旨の質問があり、警察側から「飲食店、コンビニも含めた酒類提供の事業者に飲酒運転抑止のチラシを配布して店内に掲示するように協力依頼したり、また、コンビニに対しては、そういう人を見た場合の通報についても協力依頼を実施している」旨の説明があった。

また、委員から「マスメディアを使っただけの交通安全に対する広報啓発活動は非常に有効だと思う。最近、コロナが落ち着き、飲み会等を始めようという雰囲気になっている。マスコミなどで『マスク会食』が言われるが、その中でも『飲酒運転はダメ』だということを入れてもらいコロナと結びつけた交通安全対策もできるのではないか」旨の意見があった。

第2 報告・決裁等

- 1 熊本県公安委員会による交通規制の意思決定(信号機の新設等)についての決裁  
交通規制課長から説明があり、決裁が行われた。
- 2 令和3年第28回公安委員会会議録の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 3 投書（R3No.18）受理の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。